

# 地域の絆が 都市とつながり 未来を拓く

～しきしまの家から始まる山村の未来～



敷島自治区 しきしまの家運営協議会

# 敷島自治区の概要

## ■自治区の地勢

豊田市の中山間地域に位置

面積:21.7km<sup>2</sup>

標高:約180m~530m

## ■集落数

9集落(町内会)

## ■公共施設

旭中学校

敷島小学校

杉本こども園

杉本郵便局

杉本駐在所

## ■自治区の人口 (R5.4.1)

人口:903人(住民基本台帳)

世帯数:324世帯(自治区調べ)





# しきしまの家 Comcept Movie



「しきしま♡ときめきプラン」  
10年の歩み

10年後を展望し  
5年間の行動計画を定める

# 「しきしま♡ときめきプラン」



2019年12月7日  
公開討論会

討論には、中学生やしきしまファンの都市部住民も参加

# しきしま暮らしの作法

私たちは、しきしまを豊かな暮らしの場として

未来につながることを決意し、

しきしまを愛する全てのの人々を温かく迎え入れます。

ここに暮らしの作法十か条を定め、これを守ります。

第一条 家、田畑、山林は地域共有の風景と考えよう。

第二条 家の周りをきれいにして暮らそう。

第三条 空き家を放置するのはやめよう。

第四条 田畑や山林を荒らさず、生業の種を育てよう。

第五条 高齢者が生涯現役で暮らせるよう支えあおう。

第六条 子どもは地域の宝、よその子も大切に育てよう。

第七条 歴史や伝統文化を地域の誇りとして守ろう。

第八条 あいさつを励行し、安全安心な地域をつくらう。

第九条 自分でできないことは、みんなで助け合おう。

第十条 地域の未来のために何ができるか考え行動しよう。

令和二年三月 敷島自治区

移住者受入れは空き家活用が決め手

10年間の移住実績

**40世帯 98人**

2020年2月24日

空き家片付け  
大作戦



2020年2月2日

暮らしの参観日(空き家見学会)

10年間の活動が評価され  
地域活性化優良事例として **総務大臣賞を受賞**



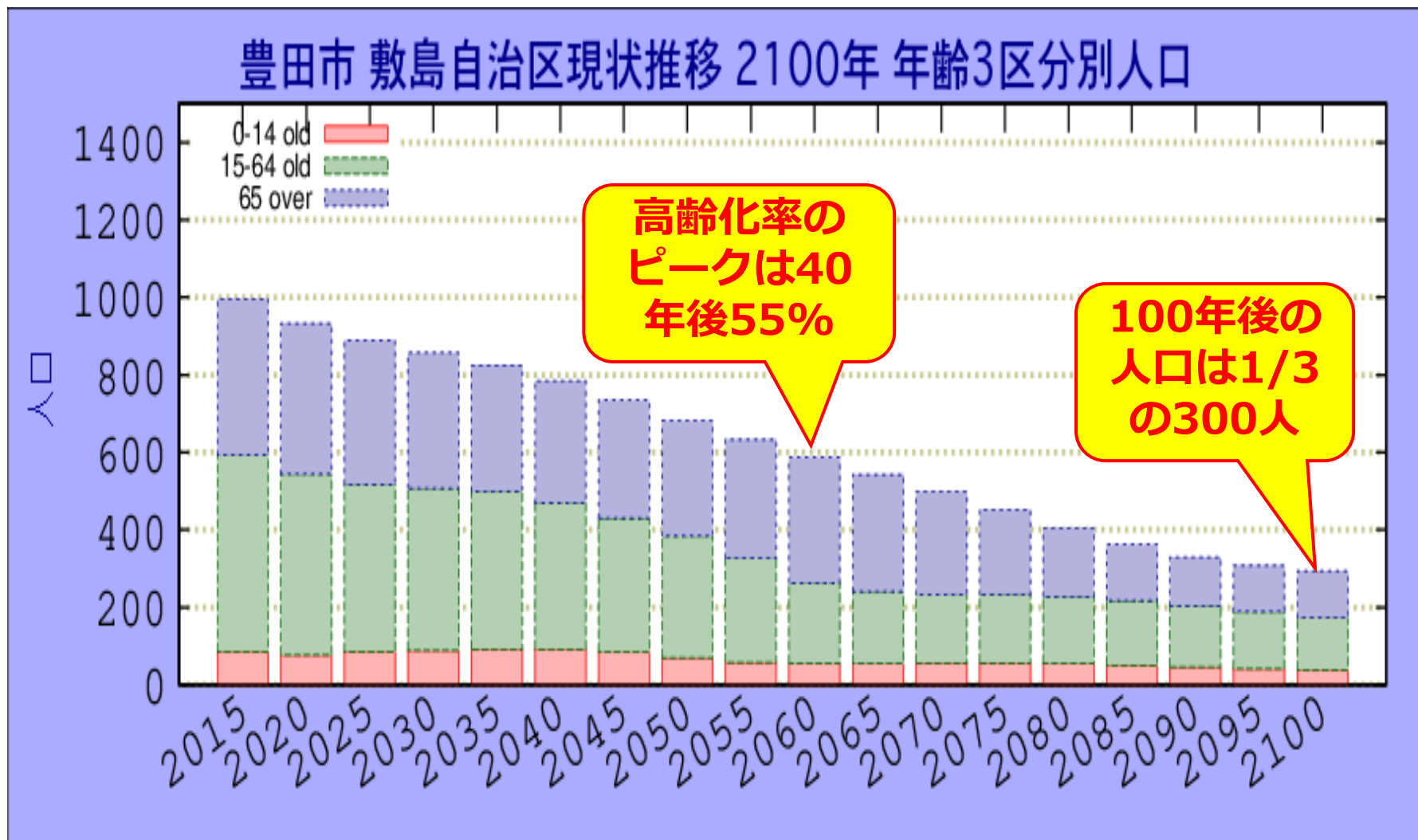
2020.11.28 ホテルルポール麴町





**新たなフェーズ**  
**「しきしま♡ときめきプラン2020」**

# 人口減少、高い高齢化率は100年続く



# 「しきしま♡ときめきプラン2020」 3つの重点プロジェクト

**人口減少・超高齢社会を受け止めて前に進む！**

## プロジェクト①

### 支え合い社会創造プロジェクト

誰もが「支える人」であり続け、無理のない持続的な有償ボランティアのシステム(現代の「結」)を創り上げる

## プロジェクト②

### 農村景観を守る農地保全プロジェクト

美しい農村の風景を次世代につなぐため、消費者とつながる農地保全(CSA農業)、森林の保全に取り組む

## プロジェクト③

### 未来への構造改革プロジェクト

人口減少・超高齢社会に合った自治区、町内会などに改め、関係人口と共に地域を自治する地域運営組織を立ち上げる



**「しきしま支え合いシステム」  
がめざすお互いさまの関係**

# しきしま支え合いシステムのイメージ

困っている人・世帯

- ・ひとり暮らしの高齢者
- ・高齢者のみの世帯
- ・子育て世帯
- ・その他助けが必要な人

みんなが「支える人」であり「支えられる人」!

④サービスの提供

- ・草刈り・大工
- ・買い物代行
- ・子どもの見守り
- ・電球交換
- ・庭畑の草取り
- ・パソコンやスマートフォンなどの機器説明

お手伝いができる人

- ・げんきな高齢者
- ・特別な技能を持つ人
- ・助産師など有資格者
- ・都市部の支援者など

①依頼

②見積り

⑤支払い

③依頼

⑥支払い

登録

事務局／マッチング・見積り・清算事務

# しきしまのこれからの人生モデル

これまでの人生

**3ステージモデル** 同世代で一斉行進。引退期は「老後」を送る人生。



これからの人生

**生涯現役・幸福持続化モデル** 生涯学び、多様な仕事に就き、次世代のために生きる人生。



おかげさまで

# 『敷島自治区困りごとアンケート』の 調査結果が出ました！

調査期間：2020年12月～2021年1月  
 調査対象：敷島自治区内の中学生以上の方全員  
 回収率：80.5% (746/927名)

★★★★★ 主な特徴は、次の2つ ★★★★★

① 「お手伝いできる」「場合によってできる」の回答が多くありました！！

→ 自治区内の支え合いで、地域の困りごとが「ある程度」解決できそうです。特に **○○○○○** のあたり。



② 「世代・性別」で  
「お願いしたい」ことが  
異なっています！

お願いしたいこと	1位	2位	3位
13～39才 (18%)	42. 子どもの遊び場	31. 運動できる場所や施設	34. 緊急時に医療が心配
40～69才 (47%)	16. 山の手入れ	15. 獣害	26. 地域活動のお役職がすぐ回ってくる
70才以上 (35%)	7. 機械や電気製品の修理	15. 獣害	6. 高所作業や大型ゴミ出し等の力仕事
男性 (48%)	26. 地域活動のお役職がすぐ回ってくる	16. 山の手入れ	15. 獣害
女性 (52%)	16. 山の手入れ	15. 獣害	13. 草刈り

問5. 日頃感じている「困っていること」「誰かにお手伝いしてほしいこと」「お手伝いできること」についてお聞きがせください、あてはまる○を○または◇にしてください。

困りごと項目	困っている			誰かにお手伝いしてほしい			お手伝いできる		
	○	◇	○	○	◇	○	○	◇	○
1. 食料品・日用品等の買物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 外での食事やお茶の楽しみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. その他 買物・食事について	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 日々の食事づくり	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 日々の掃除やゴミ出し	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6. 高所作業や大型ゴミ出し等の力仕事	0	0	0	0	0	0	0	0	0

さすが敷島♪

2021年(令和3年)  
9月11日(土)

発行  
敷島自治区支え合い社会創造  
プロジェクト (協力:MYPOWER)

## ① お年寄りの命と くらしを守る チーム



**結果：**「機械や電気製品の修理」「緊急時に医療が心配」「高所作業や大型ゴミ出し等の力仕事」「田んぼ・畑の手入れ」などに困っている高齢者が多くいました。

**背景：**誰もがいずれ高齢者になります。ずっと幸せに暮らせる敷島に！

**協議：**まずはお年寄りのみなさんと間を縮めることから。「これ困ってねえ」と言ってもらえる関係をどのように作っていくのか辺りから検討。その後、お願いしたい人と手伝える人をつなげる方法、料金設定、シルバーさんなど地域で既に行っている人達とどう共存していくかなどを検討します。

**取りまとめ役：**松井 美佐枝（加塩町）



## ② 草刈りお手伝い チーム

**結果：**どの世代も「草刈り」に困っていました。

**背景：**美しい田園風景を守り続けていける地域こそが未来ある地域！

**協議：**お願いしたい人と手伝える人をつなげる方法、料金設定、シルバーさんなど地域で既に行っている人達とどう共存していくかなどを検討。

**取りまとめ役：**鈴木 啓佑（押井町）



アンケート結果を受けて...

『ちょっと助けて♡と気軽に言い合える敷島』を合言葉に、  
まずは 4つのチームで取り組みます！

## ③ みんなのたまり場づくり チーム

**結果：**「子どもの遊び場」「運動できる場所や施設」「同世代・世代間の交流」、コインランドリーを求める若い世代が多くいました。

**背景：**美味しい珈琲がいただけ、老若男女を問わず地域のみなさんが気軽に立ち寄れる拠点。そこに支え合いの事務局も置くことができれば、地域の困りごとの解決がより一層進んでいくに違いありません！「すぎん工房」のある旧杉本保育所が利用できそうです。

**協議：**経営コンセプト、実施体制、営業日・時間、資金調達方法など。

**取りまとめ役：**成本 由紀子（榊野町）



## ④ 町内会への普及 チーム

**背景：**敷島支え合いプロジェクトの取り組みについて、説明会を町内会単位で企画し、みなさんの生の声を伺い、ご理解とご協力をいただくことが必要不可欠と考えています。また、この取り組みを推し進めていくのに必要な財源の確保について、MYパワーへの電力切替によって財源が生み出されていく仕組みの説明も同時に行っていきます。

**協議：**町内会での説明方法などの計画、先進地からの学習、電力切替のご相談や疑問点・不明点の洗い出しなど。

**取りまとめ役：**松井 幸子（明賀町）



本取り組みについてご意見ご質問などございましたら、プロジェクトリーダーの板倉小夜子（杉本町）または各チームの取りまとめ役（上記）までお声がけください！

裏面





# 支え合い拠点「しきしまの家」 実現ストーリー

# 空き家片付け大作戦 2022年5月22日(日)



\*倉庫代わりに利用されていた旧杉本保育所には物があふれていました。  
\*プロジェクトメンバーと企業ボランティアの活躍で思い切った断捨離をしました。



# 「木質化DIY講座」 2022年8月20日・21日

愛知学泉大学・企業ボランティア・プロジェクトメンバー・住民



＊地元大工さんを講師とする2日間の講座に延べ40名が参加。大学生、MYパワー、(株)ワイズ、リコージャパンの社員さんと連帯感が生まれました。



# 「しきしまの家」プロジェクトに広がる共感



**協賛金**

**目標150万円**

**ご協賛額181万円（協賛者 278人）**

**クラウドファンディング**

**目標150万円**

**ご支援額163万円（支援者152人）**

# お披露目会に約200名の参加

## 2023年4月1日(土)「しきしまの家」オープン



太田市長の挨拶  
その場で「地域  
共生社会推進全  
国サミット」へ  
のしきしまの参  
加が決まった。



# 「しきしまの家」から始まる 山村の未来

# しきしまの家 4～10月の主な取組み

## 支え合いマッチング50件



## ふらっと祭 毎月1回



## 共生社会全国サミット参加



## 農村RMO実証事業



# 私たちが見つけた大切なこと

- ①人口減少・超高齢社会を受け止めて前へ進む
- ②次世代が今より幸せに暮らせる地域をつなぐ
- ③「おたがいさま」の地域共生社会を取り戻す
- ④農地・森林を保全し、美しい農村景観を守る
- ⑤都市部の関係人口を地域自治の主体に加える

そのために

みんなの心の拠り所となり、汗をかき、楽しく努力する場「しきしまの家」が必要である